

# ★あけぼの★

上越市立直江津南小学校

## 「多様性の時代」～4年生・総合学習より～

- ◆「多様性」または、「ダイバーシティ (diversity)」という言葉が、いろいろな分野で聞かれるようになってきました。教育の世界も同じです。これは、「多様性を認め合うこと」「活躍の場を提供すること」を重視する考え方です。
- ◆4年生は、総合的な学習のテーマを「結ぼう、心のリボン」とし、「様々な人とかかわり合う活動を通して、相手の気持ちに寄り添い、心がつながる喜びや楽しさに気付く」「他者を認め、尊重し合うことについて、体験を通して考え、課題に目を向け、解決方法を考える」「体験や気付きをもとに、自分自身の変化や成長を自覚し、これからの生き方を考える」ことをねらいとしています。
- ◆最初につながったのが、「社会福祉法人 みんなでいきる」の坂野さんでした。坂野さんは、県内で「アール・ブリュット展」を主催している方です。「アール・ブリュット」とは、フランス語で、「文化的な伝統や流行、教育などにとらわれず、独自の発想と方法により制作した作品」のことを意味します。その人のよさを丸ごと認め、展覧会という形で、いろいろな人に鑑賞してもらえる場を企画・運営されています。今回は、「第34回国民文化祭にいがた2019」に合わせて、「上越アール・ブリュット展」を企画・運営されました。
- ◆10月25日(金)、展覧会の前日、準備をしているところを特別に見せていただけることになりました。4年生の児童は、会場となっている「リブレリアホール」(本町4丁目)と「ミュゼ雪小町」(本町5丁目)に行き、展示作業をしているところや展示が終わっている作品を鑑賞させていただきました。そこには、個性あふれる作品の数々に目を見張り、一生懸命メモをとる姿、友だちと感想を交換し合う姿、



坂野さんに質問をする姿、作者の方に直接話しかける姿など、生き生きと鑑賞する子どもたちの姿がありました。これは、「主体的・対話的で深い学び」(新学習指導要領のキーワード)に結びつく姿に他なりません。

- ◆これから、大人になっていく過程で、外国の人、自分と違う価値観の人、自分にはないよさをもっている人……、いろいろな人と出会うことになります。

「多様性の理解」は、これからの教育の大事なキーワードになっていくことでしょう。

<文責 細井一貞>

### 【うれしいお便り】

- ◆二日間、お迎えに行き、気付いたことがありました。バス通学の児童がしっかりと挨拶をしてくれたことです(二日間とも)。特に、元気のいい男の子です(多数)。挨拶週間が終わってもできるということは、しっかりと身につけているということですね。公共機関を利用しているのが関係しているのでしょうか?素晴らしいです。



# みんなでわくわく！ みなみこども祭り(10月27日)

10月27日(日)、肌寒い1日でしたが、予定どおり「みなみこども祭り」を実施することができました。事前の準備から当日の運営まで、たくさんの方のご協力をいただきました。ありがとうございました。子どもたちの作品展やわくわくチャレンジ、PTA バザーや会員交流部のみなみっ子ランド、こうちゃんのマンガ塾やけん玉チャレンジにより、有意義で楽しい1日となりました。



## わくわくチャレンジ オープニング

集会委員会の進行で、わくわくチャレンジの紹介、4年生からのごみの分別のお願いがありました。



## わくわくチャレンジ

委員会ごとに内容を工夫し、楽しい9つのコーナーを設置しました。そしてPTA みなみっ子ランドへも縦割り班で行き、挑戦しました。

## 4・5・6年生の活動

5、6年生は、わくわくチャレンジの取組に加えて、PTA バザーや学年展示の前日準備や当日の食堂給仕、ごみ収集作業、そして、後片付けの手伝いをしました。4年生は学年の活動として、校内のごみ箱の設置とごみの分別を呼びかけました。



## PTA バザー

PTA 総務部員や会員交流部員、学年役員を中心に、多くのPTA 会員が協力して、バザーやみなみっ子ランドの企画、運営に当たりました。

## こうちゃんマンガ塾 けん玉チャレンジ

今年も、校長先生のマンガ塾、けん玉名人によるチャレンジコーナーが設定されました。ステージを活用した活動紹介もあり、イベントが盛りだくさんでにぎやかな体育館でした。たくさんの方々が来校され、楽しんでいただきました。

